

キャラクター名  プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン ブラックドッグ		ワークス	UGNエージェントA	カヴァー	大英雄
	オプション	年齢		30	性別	男
覚醒	忘却	衝動	妄想	初期侵食率	31	%
出自	権力者の血統		経験	大成功	邂逅	テレーズ・ブルム

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	30
肉体	3	1	0			4	行動値	6
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	6
精神	2	0	0			2	戦闘移動	11
社会	1	0	0			1	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2	1	射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転:			芸術:	3		知識:			情報: UGN	4	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
聖剣の王者	白兵	4r+3	7	15		シナリオ1回メインプロセス間C値-2、暴走時攻撃不可

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲: 0 合計回避: 0

所持品	
デモンズシード	
グローイングクリスタル	
適合者/オーガナイザー	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
[98] 遺産継承者/レガシー	P	N		
[01] 賢者の石/レネゲイドクリスタル	P	N		
My Sweet Honey	P	純愛	N	嫉妬
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
かまいたち	1	2	メジャー	視界	-	対決	-	
効果:	射程を視界に変更、攻撃力-5							
援護の風	5	4	オート	視界	単体	自動	-	
効果:	判定+LvD、1回/1R							
ウインドブレス	3	2	オート	視界	単体	自動	リミット	
効果:	「援護の風」の達成値+Lv×3							
限界突破	1	3	セットアップ	至近	自身	自動	80%	
効果:	1回/1Rを2回/1Rに変更、1回/1S							
ライトスピード	1	5	マイナー	至近	自身	自動	100%	
効果:	メインプロセスに二回メジャー、C値+1、1回/1S							
リミットリリース	1	6	オート	至近	自身	自動	100%	
効果:	C値-1、1回/1S							
激情の早鐘	1	4	オート	至近	自身	自動	100%	
効果:	戦闘不能時、C値-1を次のメインプロセス終了まで							
アームズリンク	3	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果:	判定+LvD							
メカニカルアクション	1	2	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	マイナーにエフェクト以外の行動、1回/1シーン							
バリアクラッカー	3	4	メジャー	武器	-	対決	80%	
効果:	ガード値&装甲無視、Lv回/1S							
フルインストール	4	6	イニシアチブ	至近	自身	自動	100%	
効果:	ラウンド間判定+Lv×3D、1回/1S							
弧状の雷	1	4	メジャー	-	Lv+1	-	120%、妄想	
効果:	対象をLv+1体に変更、3回/1S							
コンセントレイト	3	2	メジャー	-	-	対決	-	
効果:	C値-Lv							

大英雄を自称する大英雄。Sランキンングランカー。全世界に蔓延る災害級ジャームを討伐するため各地を飛び回っており、これまで数多の怪物をエクスカリバーと名付けた聖剣にて一撃（二撃）にて屠ってきた。ヨシュア・ランカスターと所縁からUGN中枢評議会直属の本部エージェント及びUGNロンドン支部所属エージェントという肩書になっており、ジャームの討伐依頼は彼らから命ぜられることが多い。伝説のブリタニアの王「アーサー」以上の英雄になることを一族から、UGNから、世界から期待されており、その身勝手な願望以上の武勲が綴られた英雄譚を日々更新し続けている。

公明正大で聖人君主。幼い頃憧れた伝説の英雄に相応しい振る舞いをするよう心掛けている。しかし、いい意味でも悪い意味でも自分が英雄であると自負しているため言い回しが非常にキザっぽい。公爵家を出で立ちから聡明かつ博識であるのだが、それを上回るだけの天然であり、皮肉や冗談が通じないことが多い。しかしそのような自負や性質がために路傍ですり泣く少女に心を砕き手を差し伸べられるような、真の英雄に相応しい性格で備わっていると言える。花や夜空といった美しいものをよく好み、その中でも特に詩歌を愛する。世界各地を回る中で出会うその土地ごとの民謡の数々は大切な宝物であり、求められれば様々な詩歌を誦んじることができる。その身に備わった風の加護によってほとんどすべての事柄が一定以上の水準でできてしまうが、親愛なるパートナーから「ユーモアのセンスが災害級じゃないの」と言われて以来、「笑い」について勉強しているらしい。

現在のイギリス王室と血を分けた公爵家のひとつに生まれ落ちる。貴族に与えられるはずの権威と栄光が徐々に萎縮させられていく現代において伝説上の存在である「アーサー王」の如き超人に育つよう両親に願われ、病的な英才教育と偏執的な愛情を浴びせられたが、本人に備わった資質と天性の鈍感がそれらのストレスを跳ね除け、両親が願った以上の英傑に育った。貴族院の議席に腰を掛けるための勉強に勤しみ始め得た頃、レネゲイドウィルスの特報が広がり始める。庶民の中から突発的に生み出された超人の存在にいつそう震えたのは封建的な貴族たちであり、貴族の中から人柱となるのは一門の地位の向上を一層願う家となるのが道理であった。その日、彼はどのように両親が「アーサー王」という伝説の存在に並々ならぬ拘りを持っていたのか理解した。代々家に受け継がれてきた一振りの聖剣の存在によって。

貴族主義かつ秘密主義。現在のUGNヨーロッパ支部に残る悪癖が当時の英国貴族院が編成する騎士団になかった訳もない。上質な血統書付きであることが求められ、オーヴァードとしての二の次であった募集要項によって集められた騎士たちによって編成された英国騎士団に英雄になる前の彼もまた所属していた。レネゲイドウィルスが生み出した災害はこちらの練度に関わらず降りかかってくる訳で、その身を庇う盾を持ち合わせなかった彼は騎士団の仲間たちがひとりまたひとり倒れていくのを見ているしかなかった。繰り広げた死闘の数々によって成熟したオーヴァードとしての力を、そんな力に恵まれずジャーム化した親友に向

